

WISH

2020年3月1日

発行：飯南高校PTA 広報委員会

島根県飯石郡飯南町野萱800 〒690-3401

Tel. 0854-76-2333 Fax. 0854-76-2344

URL <https://iinan.ed.jp>

【特集】

飯南町子ども未来会議

卒業生に贈るメッセージ

贈

平成二十七年十月吉日
田村 農園
田村 勲



年度末を迎え

飯南高校PTA会長 鹿田 明浩



今年度予定していましたPTA活動も滞りなく終わることができました。これもひとえに保護者の皆様、教職員の皆様の温かいご支援とご理解のお陰と、心より御礼申し上げます。

また、飯南町をはじめ関係機関の皆様、地域の皆様には平素より本校に対して多分なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。皆様のお陰で生徒も安心して学校生活を送っています。

さて、今年のPTA活動では例年行われている「PTA奉仕活動」「鵬雲祭」「ロードレースでの炊き出し」「上級学校の見学」「WISHの発行」に加え、新たに研修委員会の中で取り入れた「飯南町子ども未来会議」への参画がありました。町ぐるみで子育て意識を醸成する事を目的に飯南町キラリ！ドリームアップ推進協議会が主催、町内の各種

団体も参画して開催されました。当日は地域住民や保護者、教育関係者、中高生も参加して各団体の活動報告や大人と子どもの意見交換など、とても有意義な会となりました。私はこの活動が子ども達に与える影響は大きいものと考えます。子ども達が主体となり自由に意見を出す。子ども達の将来について大人が真剣に話し合っている姿を子ども達が見る。なかなか経験できない事です。この活動が来年度以降も継続して開催されることを期待します。

最後になりましたが、3年生の皆様、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。この3年間、学校でもご家庭でも様々な出来事があったと思います。楽しかった事、辛かった事、様々なことを経験する中でそれを蓄積し、子ども達は成長していきます。飯南高校での時間を糧に今後さらなる成長を遂げ、社会に貢献できる立派な大人になられることを心より願っています。

1年間PTA会長を務めさせて頂き、とても貴重な経験をさせて頂きました。

本当にありがとうございました。

自立を目指して

飯南高校 校長 高橋 尚彦



会員の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解と温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。本年度も、PTA 環境整備活動や鵬雲祭の模擬店、校内ロードレース大会の豚汁サービスなど心温まるご支援をいただき、生徒たちも充実した学校生活を送ることができました。

早いもので、卒業式の時期となりました。3年生は就職希望者全員が進路を決定し、進学に関しては推薦入試等で合格を決めている生徒もいますが、国公立大学などを目標にしてきた生徒たちはこれからの合格発表を待っています。全員が希望通りの進路に決定してくれることを願っています。本年度も生徒たちは、進路実現、部活動、地域活動などに誠実に取り組み多くの成果を挙げてきました。学校便りや学校ホームページでお伝えしてきた、生徒たちの多彩な活動や生き生きとした姿にそれがあらわれていると思います。

私はこの一年、始業式や終業式で「自立を目指す」ことについて度々話してきました。自分自身の足でしっかりと立ち自分で考え行動できる、自立した一人の人間となるのが、世の中がどのように変わろうと、生きていくために大切なことだと思います。自立を促すためにはよい習慣をつけさせることが必要です。授業でも、学習に向かう姿勢をきちんとした上でないと基礎学力も応用力もつきません。そのことが、学習の成立のためにも人間形成のためにも大切であるということをお話してきました。現在、生徒会の生徒たちは活動目標の一つに「自立できる学校」を掲げ、挨拶運動、校内の美化活動にとり組んだり、過ごしやすく活

気にあふれた学校にしようと活動しています。非常に意識が高く、大変うれしく思っています。

競争社会の中では、学校ですら人と比べたり競争に向かわせる不自由さがあります。しかし、大きく変わっていく未来では、自分自身の成長を目標にチャレンジし、一生かけて学び続けていくことが生きがいにつながっていくように思います。私たちにできることは、子どもたちに期待し、チャレンジや努力をほめてやり（結果だけをほめないで）、答えを教えずに一緒に考えてやることかもしれません。

学校においてもキャリア教育など、「将来の生き方」をテーマにした教育活動に力を入れています。ご家庭においても、社会人の先輩として「社会の仕組みや仕事」など様々なことを話していただければうれしく思います。高校時代は「将来の生き方」を決める上で大変貴重な時期です。その時期に「社会や仕事」について多くの人から体験などを聞くことは、自分の考えを確立していくうえでも非常に大切なことだと考えます。



【朝の挨拶運動】

月水金は生活委員、火木は生徒会執行部が元気の挨拶を呼びかけています。

飯南高校PTAとして 「飯南町子ども未来会議」に参加しました。

去る10月10日、「頓原ふれあいホールみせん」にて「飯南町子ども未来会議」が実施されました。本校からは全校生徒の三分の一にあたる63名もの生徒が参加してくれました。地元の3団体の発表を聞いたあと、その内容に関するパネルディスカッションの形式で会議は進行了しました。パネラーの発表の一方通行ではこの会議は成り立たないわけですが、将来、地域貢献をしたいと考えている生徒たちが何人も手を挙げて質問・意見を述べ、会議を盛り上げてくれました。

今年度からこの会議は本校PTAも主催者として名を連ねており、多数の保護者の方々のご参加をいただきました。次年度以降はさらに多くの方々のご参加をお待ちしております。

【参加者の感想】保護者

- 本当に子どもたちの為になることはどんなことか考えるきっかけになりました。
- 若者の活動に心を打たれた。中年と呼ばれる我々は若者を支援できるようにしたい。
- 「地域で子どもを育てる」これを次の世代にも繋げていきたいと思った。
- 高校生と意見交換ができて有意義だった。高校生が自分の意見をしっかり持っていて頼もしかった。



【参加者の感想】中学・高校生

- つながりが大切だと感じた。当たり前だと思っていた地域の人たちの支えを改めて確認することができた。
- 飯南町のために活動している団体を知れて、今後の楽しみができた。今までより帰ってきて活躍したいと思った。
- 飯南町に飯南町のことを考えている団体があるのはすごいと思った。そしてその団体のみなさんが、本気で飯南町のことを考えているという思いが伝わった。



PTAは、がんばる飯南高

入学式での会長あいさつ (4 / 9)



鵬雲祭 (8 / 29 ~ 31)



PTA・鵬雲祭模擬店の準備

PTA 総会 (5 / 11)



クラス懇談会

環境整備活動 (7 / 24)

PTA・鵬雲会・教職員有志に加え、生徒の皆さんもたくさん参加し、一緒に汗を流しました。



急斜面もなんのその! 見違えるほどきれいになりました。



校生を熱く応援します！



鵬雲祭（玉入れ） 保護者も競技に参加しました。



豚汁サービス（10 / 24）

ロードレースは雨で中止となりましたが、お昼の豚汁サービスに向けて手分けをして準備をしました。





卒業生に贈るメッセージ

Message to graduates



トライ & ゴール

3年1組担任 竹内 徹



卒業生の皆さんが生まれた2002年（ではない人も多いですが…）、日本ではW杯サッカーが日韓共催で行われサムライブルーで湧き上がった年です。そして昨年、W杯ラグビーが日本で初めて開催され、桜ジャージの「One Team」に国民が熱狂しました。ラグビーでは試合終了の笛が鳴る＝「ノーサイド」と言われます（世界的には「FULL TIME」が一般的なようですが…）。エキサイトし過ぎて殴り合い寸前まで行ったとしても、敵・味方の区別

なくお互いに健闘をたたえ合い互いを尊重する。それがノーサイドの精神なのです。試合も興奮しますがノーサイドが告げられた後の両チーム選手の立ち振る舞いにも感動します。日本サッカーの父と言われるクラマー氏は、「試合終了の笛は、次の試合の始まりの笛だ」と残しています。皆さんも卒業式を終えた次の瞬間にはもう新しいフィールドへのスタートです。これからの人生は節目の連続です。飯南高校で育んだ「自律・友愛・進取・創造」自分で考え判断し、周りの人を大切に、積極的な姿勢で、新しいものや考えをつくり出すことを大切に、これからの長い人生にたくさんトライをしてください。ハーフタイムには飯南の美味しい空気を吸ってください。これからも元気に頑張ってください。

飯南 One Team は永遠です！

今できることをしよう

3年2組担任 佐藤 仁信



一匹のいもむしが、リンゴの木に住んでいました。ある嵐の晩、いもむしはリンゴの実ごと吹き飛ばされ、川に落ちこちてしまいました。いもむしは、リンゴの実に乗ったままどんどん下流へと流されていきました。彼は思いました。「僕はきっと、このまま海に流されて、魚か鳥に食べられるか、ひからびて死んでしまうんだろうな…」そう思うと、とても悲しい気持ちになりました。「でも、今できることをしよう。今日だけとりあえず、今日だけ生き

てみよう…」そう決めると彼は、自分の乗っかっているリンゴを少しずつつかじり始めました。リンゴの船が転覆しないようにバランスをとりながら、ゆっくりと…。やがて、リンゴの実は皮一枚残すだけとなりました。あとひとつかじりしたら、きっと穴があいて、リンゴの船は沈んでしまうでしょう。彼は思いました。「もう、僕の出来ることはないな…やれることはやったよ…」そうつぶやくと、じっとして動かなくなりました。

数日が過ぎて、そのリンゴの船から一匹の美しい蝶が飛び立ちました。（グリム童話より）

あなたの人生の主人公は、他の誰でもなくあなたです。楽しいことも、苦しいことも、振り返ってみれば良い思い出になります。今できることをしてください。そして、一日一日を人生という名の映画の名場面にしてください。

ご卒業、おめでとうございます。

3年保護者より

息子へ

中学生の時、下から見るグラウンドの灯りに憧れていました。「ここで野球がしたい」と言った日から今日まで本当に早かったです。

親も子ども覚悟を決めて入部した野球部でしたが、毎日練習でクタクタになって夜遅くに帰ってくる日々、最初は私の方が心が折れそうでした。そんな生活にも慣れていき、あつという間に迎えた高3の夏。最後の背番号縫い。いつもの様に、一針一針想いを込めて縫わせてもらいました。いつもと違ったのは、自信を持ってあなたのことを送り出せるなって思ったこと。そんな風に思えたのは、初めてだったかも知れませんが。仲間やまわりの人達にたくさん助けて

もらったね。最後まで頑張れたのは、あなたの誇りです。10年間、本当によく頑張ったね。辛いことの方が多かったはずなのに、思い出するのは笑顔ばかり。野球をしているときの顔が一番いい顔してるって知ってた？たくさんの感動をありがとう。楽しい時間をありがとう。

好きで始めた野球が、大好きになって、これから先も続けていきたいって思えたこと。大切な人に、約束のホームランボールを渡せたこと。たくさんの人に支えられて、あなたがここで得たものは、これからの人生にきっと役立つはず。また野球の試合観に行かせてね。

卒業おめでとう。

旅立ちの日に

早起きしてお弁当を作り、なかなか起きない息子のために何度も階段を昇り降り…。これが私の毎朝の日課。でも、それもあとわずかだなんて！

私自身は、親元を離れ町外での高校生活でしたが、子供たち二人は何の迷いもなく、地元飯南高校に進学。個々に寄り添う手厚い指導をして頂いたこと、充実した部活動を経験させて頂いたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。そして、何よりも良かったなと思えるのは、我が子の成長を毎日毎日近くで見守れたこと。

一見クールでのんびり屋だけれど、ここぞと

いう時は責任感と工夫と努力で乗り越える姿、誇らしく嬉しかったです。人ごとだった学習にも目標を持って取り組むようになり、大人っぽくなったなと感じました。自分のやりたいことはとことん追求する息子に、振り回されながらも興味津々でお付き合い、ずいぶん楽しませてもらいました。そして、たくさん元気をもらいました。

家族、地域を離れて始まる新しい生活。自分らしく歩いていってください。充実した貴重な日々になることを祈ります。これからは、ちょっと遠くから見守っています。

羽ばたけ

産れてきた時、何はともあれ健康で明るく元気な子に育てて欲しいと思いました。気付けばもう高校を卒業という一つの節目が、やって来ましたね。卒業、本当におめでとうございます。

これからは、今までとは比較にならない程の責任が求められてきます。けれど自分で決めた道です。歯を喰いしばって頑張っていって欲しいと思います。そのためには、全ての事に楽しさを見つけられる人になってください。

辛い事から逃げるのではなく、その辛さが楽しく思えるような心を持ってください。これからの新しい人生が楽しいものになりますように。

そうは言いましたが、本当に辛い時や大変な時、親が居る事を忘れないでください。

自分らしさを忘れず、大きく羽ばたいていく事を心から願っています。

第70回

全国高等学校PTA連合会大会島根大会

2020年8月20日(木)～21日(金)

大会スローガン -THEME-

「ご縁(えん)づくり」～いいご縁をつなごう世界へ、未来の子どもたちへ～

開催場所

くにびきメッセ～島根県立産業交流会館～（全体会主会場）、松江市総合体育館（全体会副会場）、島根県民会館、安来市総合文化ホールアルテピア、三刀屋文化体育館アスパル、出雲市民会館（分科会）

大会日程

8月20日(木) 第5分科会 14:10～16:40

会場：三刀屋文化体育館アスパル

〒690-2409 島根県雲南市三刀屋町古城1-1 TEL.0854-45-9222

- 基調講演（50分）「グローバルにつなぐ教育とのご縁
～SDGs（持続可能な開発目標）と未来のこどもたち～」
講師 関西学院大学教授 久木田 純 氏

○パネルディスカッション（80分）

- パネリスト ・公益財団日本ユニセフ協会 学校事業部マネージャー 鈴木 有紀子 氏
- ・一般社団法人 奥出雲町観光協会観光プロデューサー サミラ・グナワラデ 氏
- ・島根県立大学講師 メリッサ ハントリー大室 氏
- ・関西学院大学教授 久木田 純 氏

コーディネーター 島根大学初等教育開発専攻 准教授 香川 奈緒美 氏

8月21日(金) 全体会 9:10～12:40

会場：くにびきメッセ～島根県立産業交流会館～ 他

〒690-0826 島根県松江市学園南1-2-1 TEL.0852-24-1111

- 記念講演 講師 ・小泉八雲記念館館長 小泉 凡 氏
- ・俳優 佐野 史郎 氏
- ・ミュージシャン 山本 恭司 氏

多数のご参加を
お願いします。



【編集後記】

今年度も皆様のご協力のおかげにより、飯南高校PTA広報誌「WISH」を刊行することができました。

1年間を振り返ると、生徒たちのいきいきとした活動の様子が伝わってきます。普段の何気ない学校生活にも、学年を超えた仲の良さ、地域の方々との交流、学習面での個を大切に教育などにより、ひとりひとりが輝いて見えました。部活動、学校行事など、保護者との関わりも多くあり、保護者も自分の高校時代を思い出し、楽しいひとときを過ごせたことに感謝します。

そして、3年生のみなさん、卒業おめでとうございませう。これから始まるそれぞれの道に飯南高校で培った経験が必ず生きてきます。悩んで壁にぶつかったときは、高校時代の友達、先生、学校生活、助けてくださった地域の方々を思い出してみてください。「あなたはひとりじゃない」そう思わせてくれる温かい時間に包まれると思います。

最後になりましたが、お忙しい中、原稿をお寄せくださったPTA会長様をはじめとする3年保護者の皆様、広報委員会の皆様、本当にありがとうございました。これから飯南高校から羽ばたいていく生徒を今後ともご支援くださいますようお願い申し上げます。